

令和7年度
事業報告(案)

社会福祉法人白老宏友会
指定特定相談支援事業所「ゆから」

1 はじめに

令和7年度「ゆから」の相談支援利用者数は3/31時点で128名（前年129件）。法人関係利用者が115名、他事業所利用者が13名、在宅者が2名の計画相談を実施してきた。

前年度末高等養護学卒業の利用者1件（むかわ町→白老町）と契約を行い、医療機関に居住を移し介護保険サービスに繋げていく事情により利用減となった2件（白老町）の対象者について調整業務を行った。

法人内利用者のサービス利用内容の変更1件（就労継続B型から生活介護への移行：白老町）のサービス調整等について対応支援を行った。

福祉サービスの支援方法や目標、利用者保護者のご意向、支援者の意見等についてまとめ、障がい者自身が望む自立した社会生活を営むことができることを目的として、本人に合った適切なサービス利用ができるよう計画相談を実施してきた。

「苫小牧市地域自立支援協議会・事例検討会」及び「障がい者虐待防止委員会・権利擁護研修」に参加し地域福祉の情報収集に権利を守る保護支援などの研修研鑽を行った。

「白老町立国民健康保険病院・経営改革報告会」に参加し医療機関の地域との連携強化の状況について学んだ。

2 計画相談作成件数

<利用状況>

ゆから			
	サービス計画(新規・更新)	継続計画(モニタリング)	合計
4月	3件	13件	16件
5月	0件	20件	20件
6月	4件	14件	18件
7月	9件	21件	30件
8月	5件	32件	37件
9月	4件	26件	30件
10月	4件	16件	20件
11月	3件	16件	19件
12月	1件	15件	16件
1月	4件	26件	30件
2月	3件	35件	38件
3月	6件	23件	29件
計	46 (R6・77)	257 (R6・239)	303 (R6・316)

新規・更新：R7・法人内-39件、法人外-7件（R6・法人内-68件、法人外-9件）

継続(モニタリング)：R7・法人内-206件、法人外-51件（R6・法人内-208件、法人外-31件）

＜行政機関別件数＞

- ・白老町 64 名・室蘭市 14 名・登別市 15 名・苫小牧市 18 名
- ・千歳市 2 名・江別市 2 名・伊達市 1 名・函館市 1 名・三笠市 1 名
- ・浦河町 1 名 ・札幌市西区 3 名・札幌白石区 2 名・札幌清田区 1 名
- ・札幌北区 1 名・札幌東区 1 名・札幌南区 1 名 （全 128 名）

＜事業所等別件数＞

- ・法人関係利用者 115 名
- ・法人外利用者 13 名
(フロンティア 6 名、北海道リハビリテーションセンター 3 名、かしわぎ園 1 名、ファミリー 1 名、在宅者 2 名)

3 事業の実施

利用者の意思及び人格を尊重し、常に当該利用者の立場に立って、提供される福祉サービス等が特定の種類または特定の福祉サービス事業等を行う者に不当に偏ることのないように行ってきた。自ら提供する指定特定相談支援の評価を行い、必要により改善を図ってきた。

計画相談策定にあたり訪問が難しい場面では、電話や書面等での状況確認などにより利用者家族・支援者等との聞き取り情報共有により計画相談業務を行った。

4 スキルアップ及び地域圏域との情報交流

- (1) 「苫小牧市地域自立支援協議会・事例検討会 (R7. 6/25)」に参加し地域福祉の状況把握及び情報収集などを行った。
- (2) 「障がい者虐待防止委員会・権利擁護研修 (R7. 9/30)」に参加し利用者の虐待防止に係る研鑽や権利を守る保護支援について研修を行った。
- (3) 「白老町立国民健康保険病院・経営改革報告会 (R8. 1/23)」に参加し医療機関の地域との連携強化の状況について学んだ。
- (4) 白老町自立支援協議会相談支援部会の実施については自粛され、文書や電話連絡・通信等により福祉資源の活用・統計確認・課題の抽出など情報交換を行った。